

令和6年度 学校園評価(学校関係者評価)シート

様式2)

学校名	加古川市立平岡北幼稚園
-----	-------------

1 教育目標	心豊かに学び合い 育ち合うこどもの育成
--------	---------------------

2 基本方針
・豊かな体験を通して、主体的に活動できるこどもを育てる ・基本的生活習慣の確立を図る ・地域の恵まれた文化・教育環境・教育力を生かした体験交流の推進 ・家庭・地域・小学校・中学校との連携を深め、開かれた幼稚園づくりの推進 ・道徳・福祉・人権・食育・環境・防災・特別支援教育の充実 ・教師の研修の充実(教師の指導力・専門性・危機管理能力の向上)を図る

3 指導目標	
心も体も健やかで 明るい子 様々な経験を通して 主体的に遊ぶ子 感じる心 考える力がある子	思いやりがあり 心の優しい子 自分の思いを伝え 素直に表現する子

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

※特に、今年度、力を入れた項目に◎がついています。

重点目標	評価項目	達成状況	自己評価(★成果 ※改善の方策)
健康な心と体を育てる	◎体力づくりに取り組み、苦手なこともあきらめずに挑戦しようとしていたか。	B	★竹馬・パカボコ、縄とび、こま回し等、それぞれの活動に得手不得手はあるが、友達との切磋琢磨や教師・保護者の励ましで、前向きに取り組む姿が増えた。諦めずに取り組んだことで成功体験につながり、自信がついた。 ※少し難しいことには取り組みにくいところがあることも多い。失敗を恐れずチャレンジできるような環境を再考したい。
豊かな体験を通して、主体的に活動することも育てる	◎自分から様々な人や、身近な自然と関わり、やってみようとする意欲がもてる保育内容であったか。	B	★幼児の興味ある虫との関わりや自然現象について興味や関心がもてるような計画をたて保育を進めた。季節ごとの自然をより身近に感じたり、遊びの中で「こうやってあそびたい」という思いをもって、友達と試行錯誤したり、やりたいことに向けて挑戦したりすることができた。 ※進級児と新入園児で経験に差があるので、一人一人の発達を把握し、やりたいことがより実現できるような支援を探る必要がある。
家庭や地域との連携	◎幼稚園教育への理解を深められるような情報発信を行い、家庭との連携を深めることができたか。	B	★幼稚園での遊びや生活を通した学びを、写真やコメントで伝える「いちご通信」の発行だけでなく、保護者参観や降園時の担任からの話を通じて教育的なねらいを伝え連携を取るようにした。また、近隣の小学校・中学校に「いちご通信」を配布し、幼児教育の理解に努めことができた。 ※ふれあい保育については、実施回数が減り、子育ての不安や情報発信等、子育てセンター的な役割を幼稚園が果たすことが難しかった。来年度は、ふれあい保育の保護者向けに連絡アプリの活用や、情報発信の仕方等有効な手立てを考え幼児教育の理解・連携に努めたい。

※評価項目の◎印を評価願います。

自己評価の適切さ(学校関係者評価)	達成状況
・運動遊びは、体力をつける上でも大切なことだと感じます。こどもによって興味の有り様は違いますが、コツコツと頑張ったことが成功体験や自信につながっているのではないのでしょうか。諦めずに粘り強く頑張る気持ちを育ててください。	A
・こどもたちの伸び伸びとした様子から、幼稚園での生活が充実していることを感じます。 ・自分のやりたい遊びが十分にできることで満足し、「明日はこれをする!」と、目標をもって次の日を楽しみに登園しています。これからもやりたいことが十分できるような保育をしてください。	A
・保護者だけでなく、小学校や中学校に向けて写真やコメント等を活用した「いちご通信」の配信は、幼小の連携においても有効だと思います。情報ツールをうまく活用してください。 ・地域の方とのふれあい交流は、子ども達に心を寄せてくださる機会になっていると思います。地域との交流は引き続き続けてください。	A